

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第3回和文会誌分科会 開催日：5月13日。出席者：長島主査，ほか17名。

1. 16件の論文審査報告がなされ，修正依頼2件，掲載決定11件であった。
2. 「鉄と鋼」第63年10月（9月号）に論文12件が掲載決定した。

第3回欧文会誌分科会 開催日：5月10日。出席者：橋口主査，ほか10名。

1. 17件の論文につき審査報告がなされ，掲載可5件，照会後掲載可10件，修正依頼2件であった。
2. 「鉄と鋼」63年5号より2件，63年6号より2件，63年9号アブストラクトより1件，および「鉄と鋼」以外の国内雑誌より3件の計8件をそれぞれ研究論文として勧誘することとなった。

共同研究会

設備技術部会

第16回圧延設備分科会 開催日：5月10，11日。出席者：矢沢部会長，鈴木主査，ほか134名。

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所で開催された春の分科会は，各社からの事例発表7件，アンケート発表1件，レクチャー3件および小委員会報告1件があり，活発な討論がなされた。恒例のレクチャーのテーマは次の通りである。

1. ロールの温度と熱応力
2. 水用制御弁の現状と動向
3. 塑性試験におけるプラスチックン応用上の問題

分科会第2日目の午後に，加古川製鉄所第一分塊工場および熱延工場を中心とした工場見学を行なつて散会した。

標準化委員会

第78回幹事会 開催日：4月27日。出席者：佐藤幹事長，ほか14名。

1. 協会規格の審議

圧延設備分科会から上申された，基礎ボルト・チョークライナ，各種配管サポート類14規格など18規格原案について審議し，一部懸案事項について再度審議することにした。

2. TC17 幹事国の引受け

昨年ISO総会，理事会で問題になったISO/TC幹事国の再配分については企画委員会，理事会の了承を得て，日本は要請があればTC17の幹事国を引受ける用意があるとの回答を待っていた。3月にTC17幹事国

BSIから幹事国辞退の連絡があり，日本が幹事国を立候補するかどうかにあつての基本的態度の検討を行つた。

ISO鉄鋼部会

第13回SC8分科会 開催日：4月14日。出席者：山南主査，ほか7名。

1. TC17/SC8 国際会議対策

- (1) 丸鋼，角鋼，平鋼の標準寸法
- (2) 等辺及び不等辺山形鋼
- (3) I形鋼，みぞ形鋼
- (4) 軽I形鋼，軽みぞ形鋼
- (5) H形鋼の標準寸法
- (6) 丸鋼，角鋼，平鋼の厳しい許容差

以上の各原案について検討し日本意見案を作成した。なおH形鋼の標準寸法（メートル系）については日本構造協会の協力をおおぎ，JISサイズの特長，制定根拠などを取りまとめることにした。

材料研究委員会

第24回委員会 開催日：5月10日。出席者：天明委員長，ほか11名。

実験の進捗状況および今後の予定につき報告があつた後，以下の諸点につき検討した。

1. Soaking 処理の要否について
2. Jominy 試験片の脱炭について
3. オーステナイト粒度の測定
4. 残留炭化物の定量
5. 100% Martensite 組織の硬さ
6. 単純 Fe-C 系の試験法

尚，天明委員長が今回限りで辞任し，後任には金沢幹事長が就任することになった。

スラグの有効利用に関する基礎研究部会

第1回部会 開催日：4月14日。出席者：松下部会長，ほか18名。

1. 経過説明

本回が第1回の部会であり，高橋副部会長により，当部会設立についての経過報告があつた。

2. 研究実施計画討議

大学側各委員により，研究実施の具体的計画について説明があり，討議を行なつた。

3. 今後の運営方針の検討

① 開催回数は4回/年とする。

② 次回は6月下旬とする。

③ 次回の議題は大学側各委員の既発表論文についての説明を中心とする。